

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日（土）～12日（日）

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 34	
企画名	地域包括ケアにおける総合診療専門医のコンピテンシーとは？を考えつくす
日時	2016年6月12日（日） 15:30～17:00
会場	第10会場（台東区民会館 8階 第3会議室）
企画責任者	松井善典（浅井東診療所／北海道家庭医療学センター）
定員	24名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>総合診療専門医に必要な6つのコアコンピテンシーのうち『地域志向アプローチ』に焦点をあて、今後国が進めていく地域包括ケアにおける総合診療専門医（家庭医）の役割や求められる能力とその開発について、</p> <p>第一線の講師とともにコアコンピテンシー・知的活性化プロジェクトチームと共に考えつくすWSです。</p>	
<p>【概要】</p> <p>地域包括ケアとは何か？を知るために、地域包括ケアの「community based care」と「integrated care」の2つの側面について理解を深める。そのために家庭医からの「community based care」の事例や、病院総合医の「integrated care」のマネジメントを紹介しつつ、地域包括ケアと考え方の近い「患者中心のメディカルホーム」からもヒントを得たい。これは翻訳を務めた日本内科学会専門医部会地域医療教育プログラムワーキンググループの活動から、患者の様々なニーズに対応する医師主導のチーム医療で実践される多職種連携による包括的・協調的ケア供給モデルにおける医師の責務について考察する。そして第一線で地域づくり・街づくりなどのコミュニティデザインを行っている実践者から、共通するスキルや態度を抽出し、その応用可能性を検討する。最後に参加者の経験や計画を基盤に、総合診療専門医に求められる『地域志向アプローチ』に必要な基本的で具体的な活動とは何かについても共同して省察し、更なるコンピテンシーの開発を行いたい。</p>	